

正江之住・大・わがまち



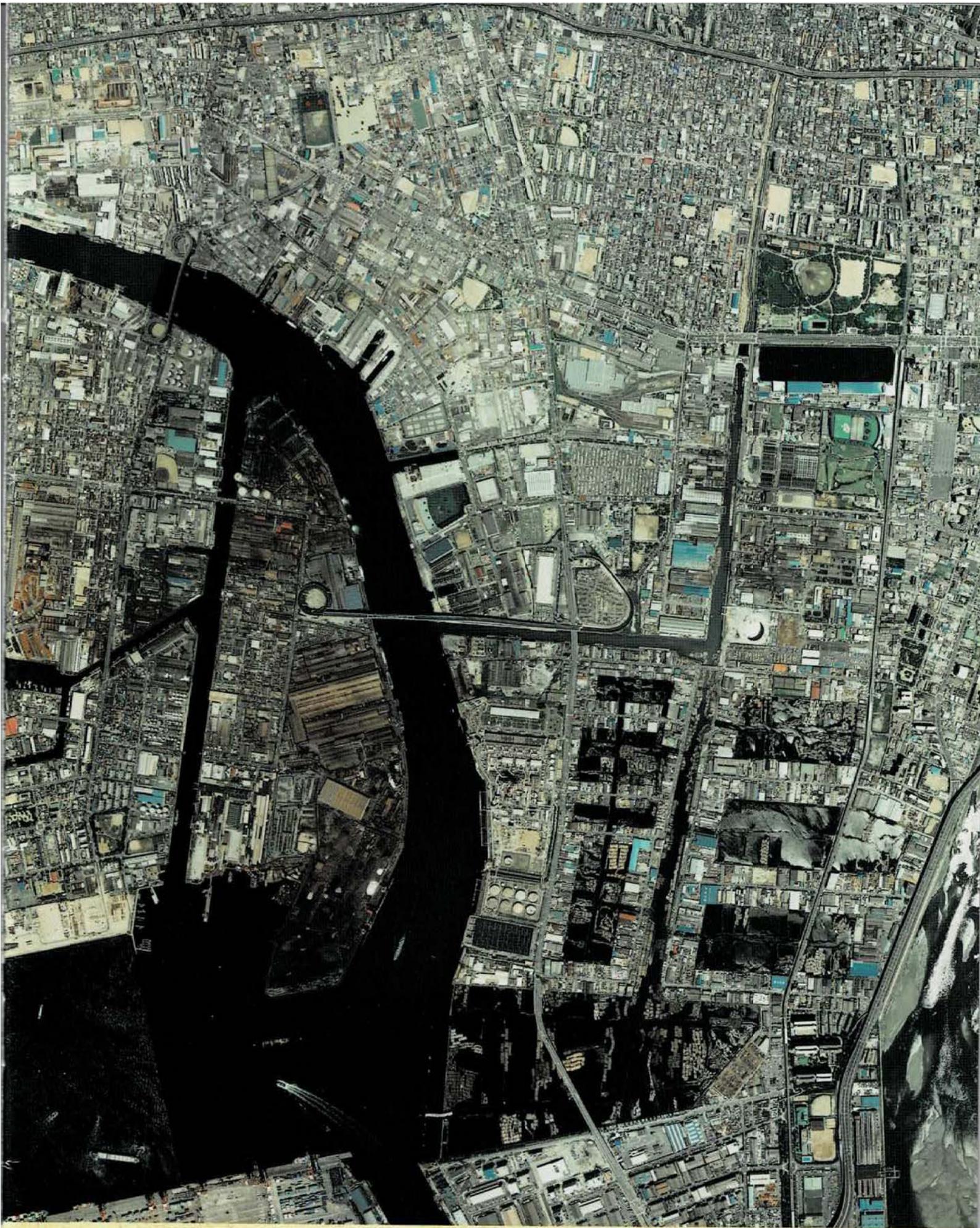
まちづくりに貢献する土地区画整理事業



わがまち大正・住之江

目 次

ごあいさつ	2
大正地区のあゆみと復興土地区画整理事業	4
大阪都市計画事業大正地区復興土地区画整理事業区域図	6
グラビア	
● 戦災と水害	8
● 区画整理によるまちづくり	13
盛土工事	13
千島計画・大正内港計画・貯木場	18
道路・下水・建物移転工事	20
公園	21
道路	22
● 大正・住之江 いま～むかし	24
江戸後期～平成	
大正地区のあゆみ(年表)	40





ごあいさつ

私たちのまち大阪は、難波宮の建都以来、千数百年の歴史を有し、市民の進取の気風とたくましいエネルギーによって、常に先駆的なまちづくりが行われてきました。

このたび、大正地区復興土地区画整理事業が完成をみましたことは誠に喜ばしく、地元の皆様をはじめ、関係の方々の多年にわたるご協力とご尽力の賜と深く感謝しております。

この事業は、さきに完了した港地区を含む港湾地帯土地区画整理事業の一環として、大正区の中央部と住之江区の西部、約637ヘクタールの臨海地帯を対象に、高潮災害を防止しつつ、戦災により焼失した市街地の整備を進めてきたものです。この間、千島計画による昭和山、区総合庁舎の建設、コミュニティ広場の整備、また、北村計画によるマリンテニスパーク・北村の建設などの事業も行ってまいりました。

このように土地区画整理事業は大阪のまちづくりに大きく貢献してきており、今後とも都市の基盤整備の中心的手法として積極的に推進してまいりたいと考えております。

待望の関西国際空港の開港を9月4日に控え、大阪市では、大阪ドームの建設、ユニバーサルスタジオの誘致など、ベイエリアを中心とした各種プロジェクトに取り組んでおります。

今後とも「人間主体のふるさと大阪」「世界に貢献する大阪」をめざして、人と都市と自然が調和する潤いのあるまちづくりを進めてまいりますので、皆様方の一層のご理解とご支援をお願い申しあげます。

平成6年8月

大阪市長 西尾正也



祝　　辞

私たちのまち大阪は、多くの先人たちが、英知と技術を結集し、情熱をもって、常に時代を先取りしたまちづくりを進め、都市づくりのパイオニアとして、輝かしい歴史を築きながら、今日まで発展いたしてまいりました。とりわけ都市の骨格である都市計画道路や公共施設の整備などを目的とする区画整理事業は、大阪市のまちづくりに大きな役割を果たしております。このたび、昭和21年から進められておりました「大正地区復興土地区画整理事業」が、幾多の困難を克服され、無事完成をみましたことは、誠に喜ばしく、心からお祝いを申しあげます。

道路の整備と高潮災害の防止を目的として、半世紀にわたって施行されたこの区画整理事業により、大正区では緑多く港の見える丘「昭和山」を中心に、総合庁舎、コミュニティセンターなどの公共施設や、北村地区の福祉ゾーン、スポーツ・グリーンゾーンの整備など、都市環境の揃った活気あふれるまちづくりが進められ、住之江区西部では平林に近代的大規模木材団地が形成されました。

これもひとえに地元の皆様方をはじめ、関係各位の多大なるご尽力の賜物と深く敬意と謝意を表する次第でございます。

本年9月、いよいよ関西国際空港が開港いたします。わが大阪市では、来る21世紀に向けて、さらなる飛躍とより豊かで潤いのある快適なまちづくりをめざし、市民生活の基礎となる都市基盤の整備をはじめ、鋭意諸施策を推進しているところでございます。私どもも市民生活の向上に向けて、懸命の努力を傾注いたしてまいる所存でございますので、皆様方におかれましても、市政の発展により一層のご尽力ご協力を賜りますようお願い申しあげ、お祝いのことばといたします。

平成6年8月

大阪市会議長　麻田健三

大正地区のあゆみと 復興土地区画整理事業

復興土地区画整理事業収束

終戦直後の昭和21年9月に着手した大正地区復興土地区画整理事業は、難波島工区・三軒家工区に続いて、平成6年1月に南部工区の換地処分が行われ、48年にわたる事業を収束しました。戦災でほぼ全域が焼失、地盤沈下によって再三、高潮災害に見舞われた大正地区的街が、権利者のみなさんや数多くの一般区民、そして関係者のご協力を得て新しくまことに甦り、ここに事業が完成したのです。

新田開発で生まれた農地

大阪の街は、市内中央部に半島状に伸びている上町台地と周囲の低地から成っています。台地の東から西にひろがる低地部は、古代の浅海が陸化した地域で、西部臨海地区は江戸時代の新田開発によって生まれました。

大正区で開発された新田のうち、勘助島・岡田・



往昔の海岸線・難波八十島・新田

難波島地区を除く9地区は昭和51年の住居表示まで新田名が地名として残り、泉尾・千島・平尾・恩加島・小林の5地区が、現在の町名に残されています。

小学校・紡績工場・造船所

明治期は、城下町として開かれた旧大坂三郷が近代都市へ移り変わっていく時代で、当地区は旧市街地の発展・拡大によって、次第に農地や沿岸漁村に、住宅・学校・工場が建設されました。

明治8年、千島新田に千島小学校（明治19年泉尾小学校に統合）、泉尾新田に泉尾小学校、三軒家に三軒家小学校が開校しました。

続いて16年に、近代紡績の発祥といわれる大阪紡績三軒家工場（後に東洋紡績）が操業開始、18年に炭屋新田の木津川沿岸に藤永田造船所が開業、28年には大阪市上水道が創設されて、三軒家・泉尾地区の500戸に初めて水道が給水され、近代文明の新風が吹き込まれました。

大阪市制は、明治22年に東・西・南・北の4区制で発足し、その8年後の明治30年に、将来の発展に備えた第1次市域拡張を実施、大正区は大阪市西区に編入されました。そして、33年に行われた町名改正により14町が生まれましたが、当時は、いぜん大部分、米・麦・綿・蔬菜を栽培する農地がひろがっていました。

大正橋竣工と市電開通

明治末期から大正期にかけて、大正区では新田所有の地主たちが協力して土地会社を設立し、土地の賃貸や分譲を行う一方、道路・橋・水路を整備しながら宅地開発を進め、積極的に工場誘致を展開して、地域の産業振興に努めました。

こうした市街化の進行に対応して、大正4年、区内初の市電、九条～高津線開通に合わせて大正橋が竣工、以降、松島～南恩加島町線・鶴町線・三軒家～新千歳町線が次々に開通し、その沿線に、大小の工場や商店街が生まれ、本格的な市街地が形成されました。

戦災で、壊滅的大打撃

大正14年4月、大阪市は第2次市域拡張を実施。それまでの4区制から13区制に移行して、大正区は

港区に、住之江区は住吉区に編入されました。そして昭和7年の分増区(15区制へ)によって、尻無川、木津川に囲まれた917ha、人口11万人の大正区が、港区から分離・発足しました。さらに昭和18年4月の22区制への再編成により、住吉区から阿倍野区・東住吉区が分区され、住之江区は、昭和49年7月に住吉区から分区・独立しました。

大正区発足当時のわが国は、すでに戦時体制へ急傾斜しつつある時で、12年に日中戦争がはじまり、16年には太平洋戦争が勃発しました。20年3月と6月の大空襲により、大正区は全半焼壊8,835戸、被災者3万5,210人、住吉区は全半焼壊3,180戸、被災者1万2,325人という甚大な被害を受けました。

内港化と盛土嵩上げ

昭和20年の戦災により31万戸を焼失した大阪市は、20年9月に復興局を新設して、土地区画整理を柱とする復興計画を策定しました。市内17区の被災地を対象とした復興土地区画整理事業は、大正区では北部の難波島工区・三軒家工区、および南部工区を計画決定しました。

難波島工区は木津川上流の中洲15.2ha、三軒家工区はその西側、木津川右岸一帯の戦災地区60.1haを対象に、土地区画整理事業を施行し、南部工区は、大正区の中央部と住之江区西部を含む636.9haを対象に、全面盛土を伴う土地区画整理事業を実施しました。

この南部工区は、戦前に造成された広大な貯木池と、これをを利用する多数の製材工場、ならびに住宅が混在する低湿地で、昭和初期から続く地盤沈下により高潮災害が絶えませんでした。そこで、

- ①住之江区の平林地区に大貯木場を造成して、大正区内の木材業者を集団移転させ、原木輸送・加工の近代化を進める。
- ②尻無川を浚渫拡幅して内港化を図りながら、その浚渫土砂で、貯木場跡地をはじめ計画地区のほぼ全面を盛土嵩上げ(O.P+3.5~5.0m)する。
- ③盛土・整地を実施した宅地に、道路・公園・下水道等の公共施設を整備する。

という大規模な土地区画整理事業を計画し、高潮に強い健全なまちづくりを進めることになったわけです。

なお、全面盛土を伴う土地区画整理事業は、港地区でも同時並行して行われたもので、その手法と規模の大きさは、世界に類例のない事業としてひろく知られています。

事業のシンボル「港の見える丘」

復興土地区画整理事業は、昭和25年のジェーン台

風により大きな被害を受けたことが、事業の促進の引き金となり、工事の進捗に弾みがつきました。そして、36年の第2室戸台風等の水害とたたかいながら事業が進められ、昭和36年11月に難波島工区、62年9月に三軒家工区、平成6年1月31日に南部工区の換地処分公告が行われ、収束しました。

大正区内では、南北に貫く都市計画道路本田大運橋線(幅40m)、東西に走る尼崎平野線(幅40m)を軸に、新しい区画道路が整然と網目をつくり、住之江区平林では、都市計画道路大和川北岸線(幅27~30m)と敷津長吉線(幅25m)に連絡する区画道路が縦横に貯木池をめぐり、市内初の近代的大規模木材団地を形成しました。

公園はあわせて16ヵ所、緑地1ヵ所で面積23.1haを整備しました。このうち、千島に建設された千島公園(11.2ha)は、緑萌え立つ港の見える丘(昭和山)として、区画整理のシンボルゾーンとなりました。

また大正区北村では、地域の活性化を図るため、区画整理で生み出された土地9.5haに、住宅、福祉・医療、スポーツ・グリーンゾーンを整備、平成3年4月には、マリンテニスパーク・北村がオープンしました。

健康美あふれるまちへ

大正区内の交通機関は、昭和36年4月に国鉄環状線(現・JR)大正駅が開設され、通勤・通学と生活の利便性がいっきょに更新されました。その後42年8月に、モータリゼーションの波のなかで市電が廃止されましたが、かわって、区民待望の地下鉄大正~心斎橋間の工事が平成5年11月に着工、9年4月開通をめざして、現在その工事が進行中です。

一方、住之江区西部をみると、南港造成開始から30余年を経て、“太陽と水と緑の町—南港ポートタウン”が日ごとに充実。コンピュータで集中管理され、コンクリート軌道をタイヤで走る新交通機関・ニュートラムもすっかり地域住民の足となり、阪神高速道路や市内に直結する道路網の整備で都市機能は急速な発展を遂げています。

広い道路、風にそよぐ街路樹、新しい高層住宅群、明るくなった工場…新生大正地区はいま、健康美あふれるまちへ甦りました。

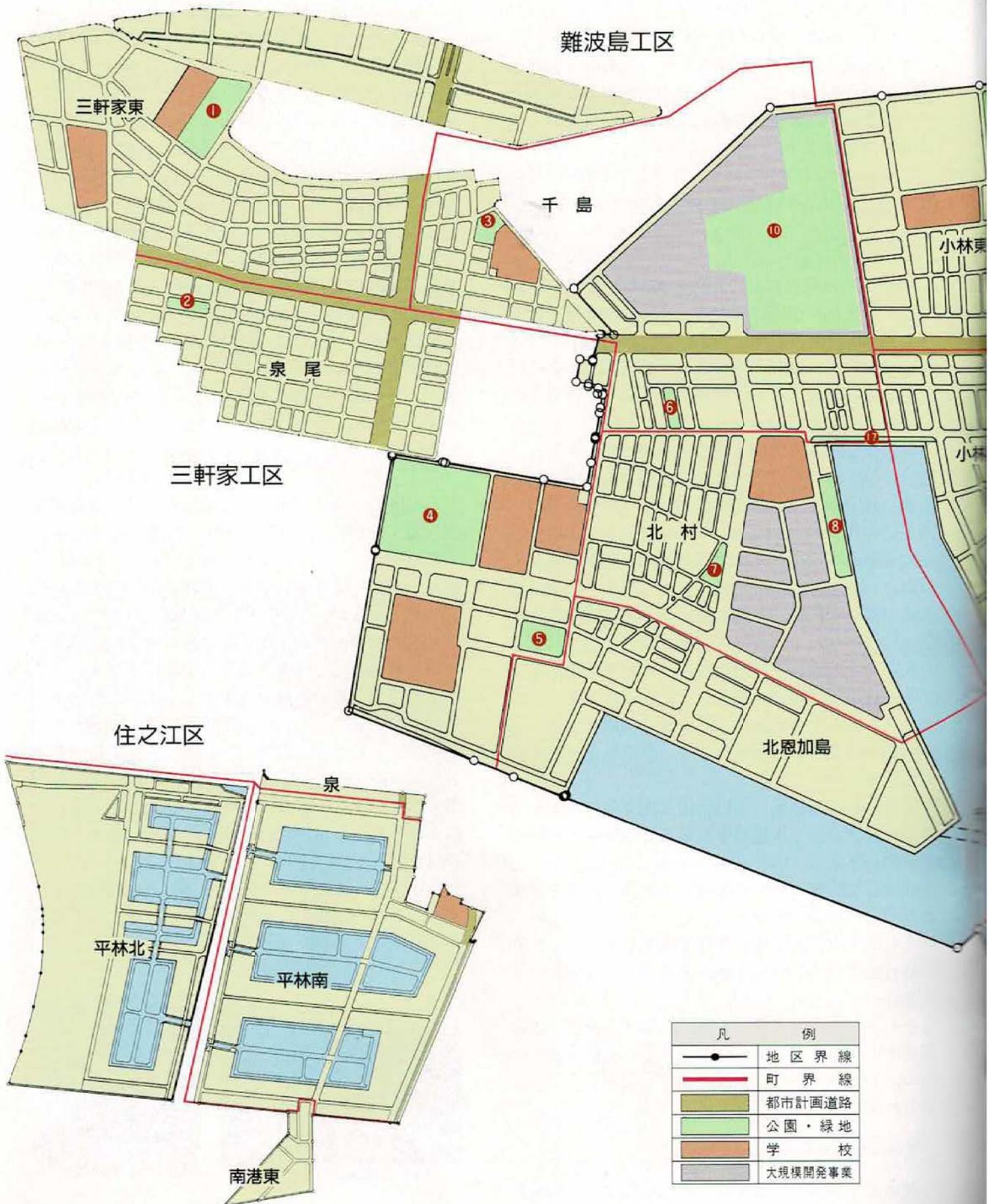


本田大運橋線（大正通）

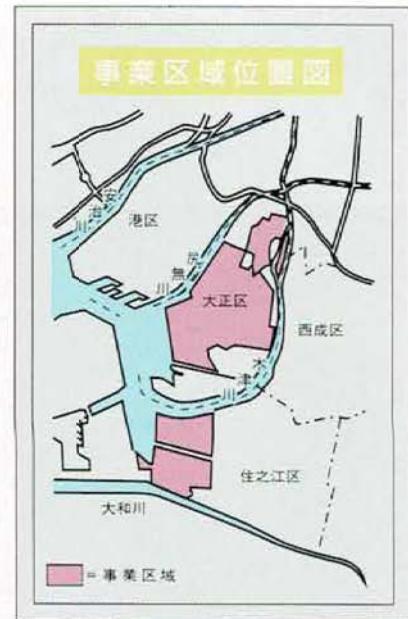
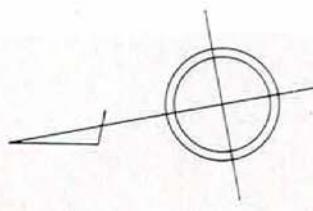
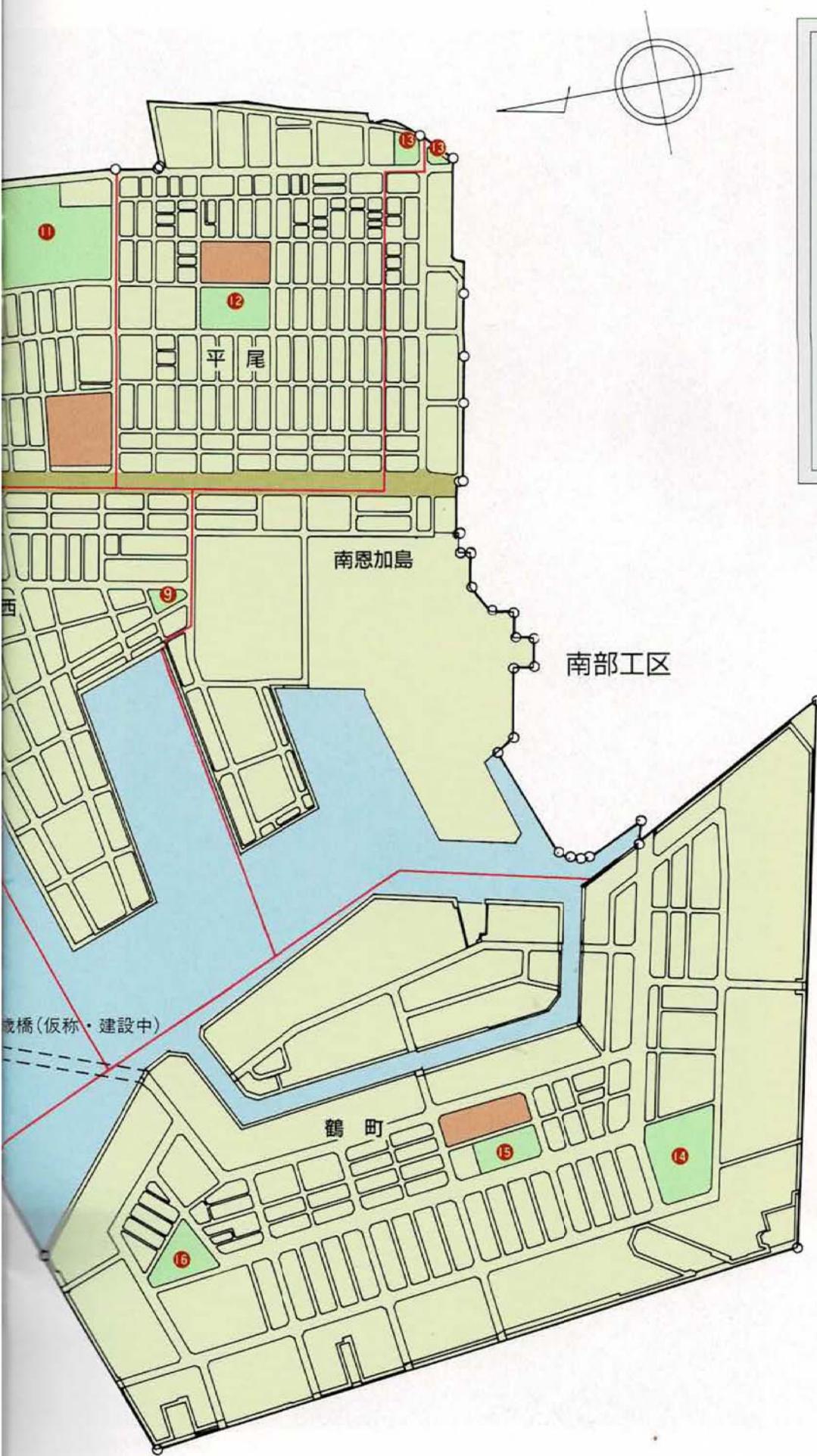


ニュートラム

大阪都市計画事業大正地区



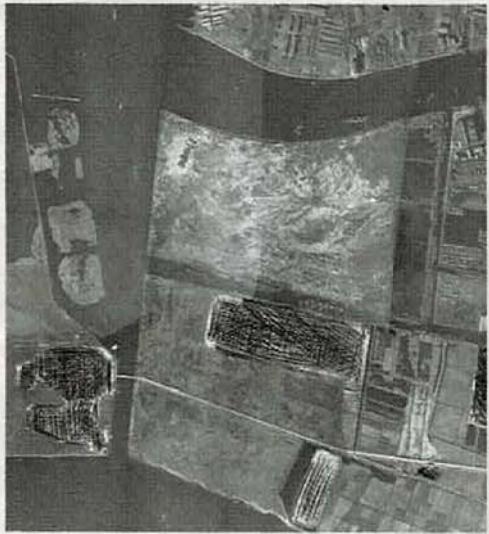
復興土地区画整理事業 区域図



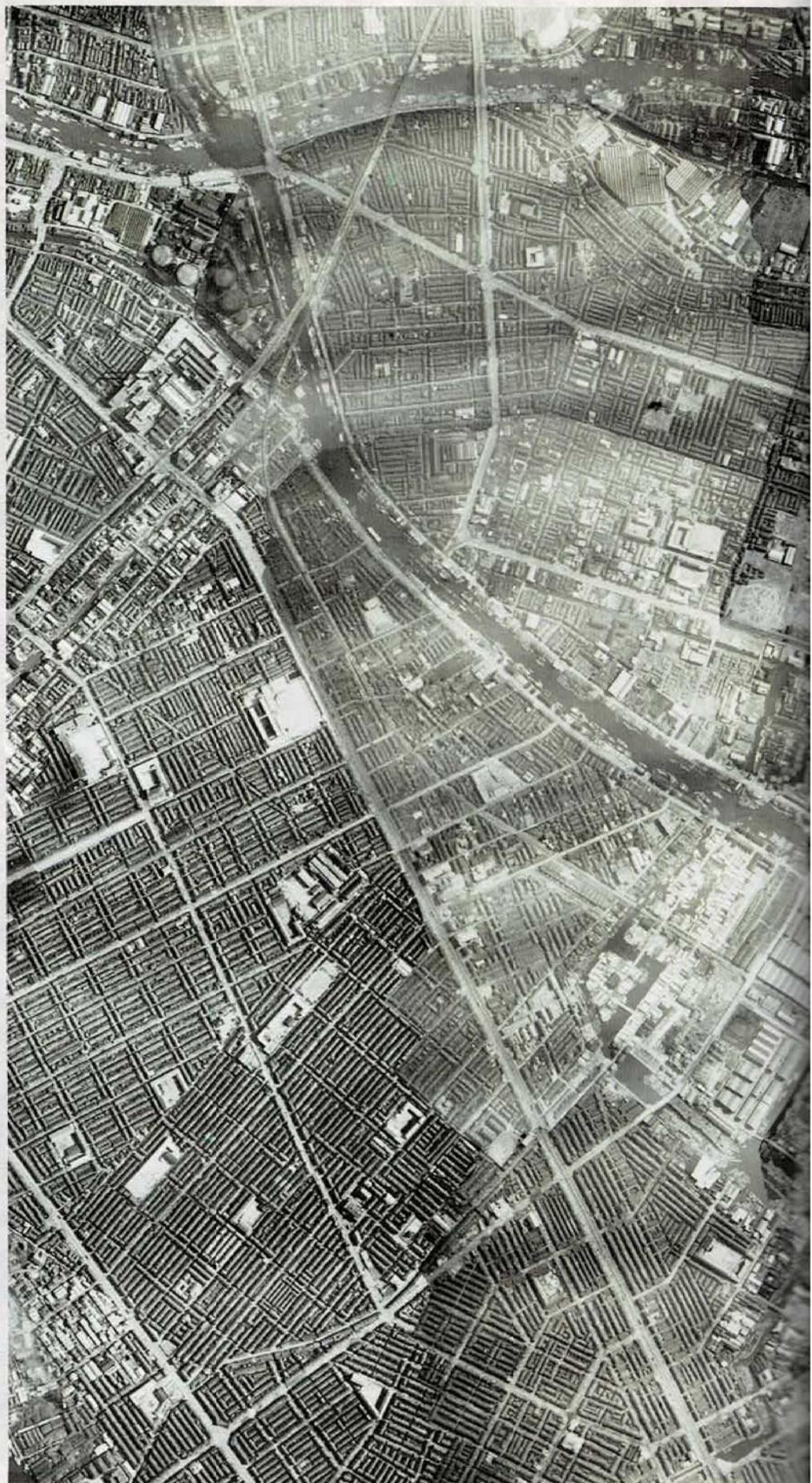
公 園

- ① 三軒家公園
- ② 泉尾上公園
- ③ 南泉尾公園
- ④ 泉尾公園
- ⑤ 泉尾浜公園
- ⑥ 北村町公園
- ⑦ 北村町西公園
- ⑧ 北村南公園
- ⑨ 小林南公園
- ⑩ 千島公園
- ⑪ 平尾公園
- ⑫ 千島南公園
- ⑬ 南恩加島東公園
- ⑭ 鶴町南公園
- ⑮ 鶴町公園
- ⑯ 鶴町北公園
- ⑰ 緑地

戦災と水害



昭和17年の住之江区(旧住吉区)西部



昭和17年の大正区





昭和22年の大正区と住之江区



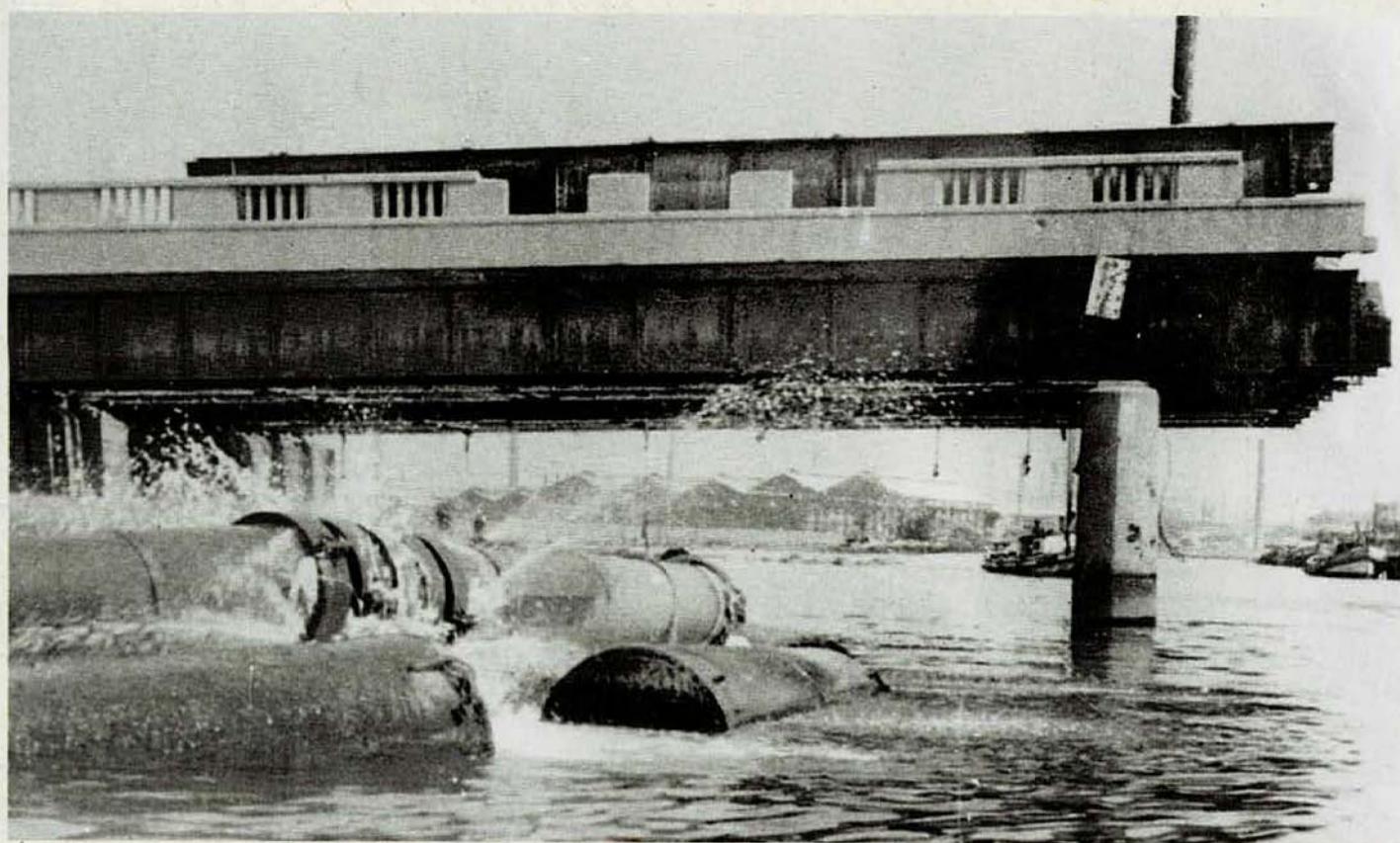


大正区鶴町付近より尻無川上流を望む（昭和21年8月）「毎日新聞社提供」



昭和25年のジェーン台風で浸水した三軒家付近

区画整理によるまちづくり 盛土工事



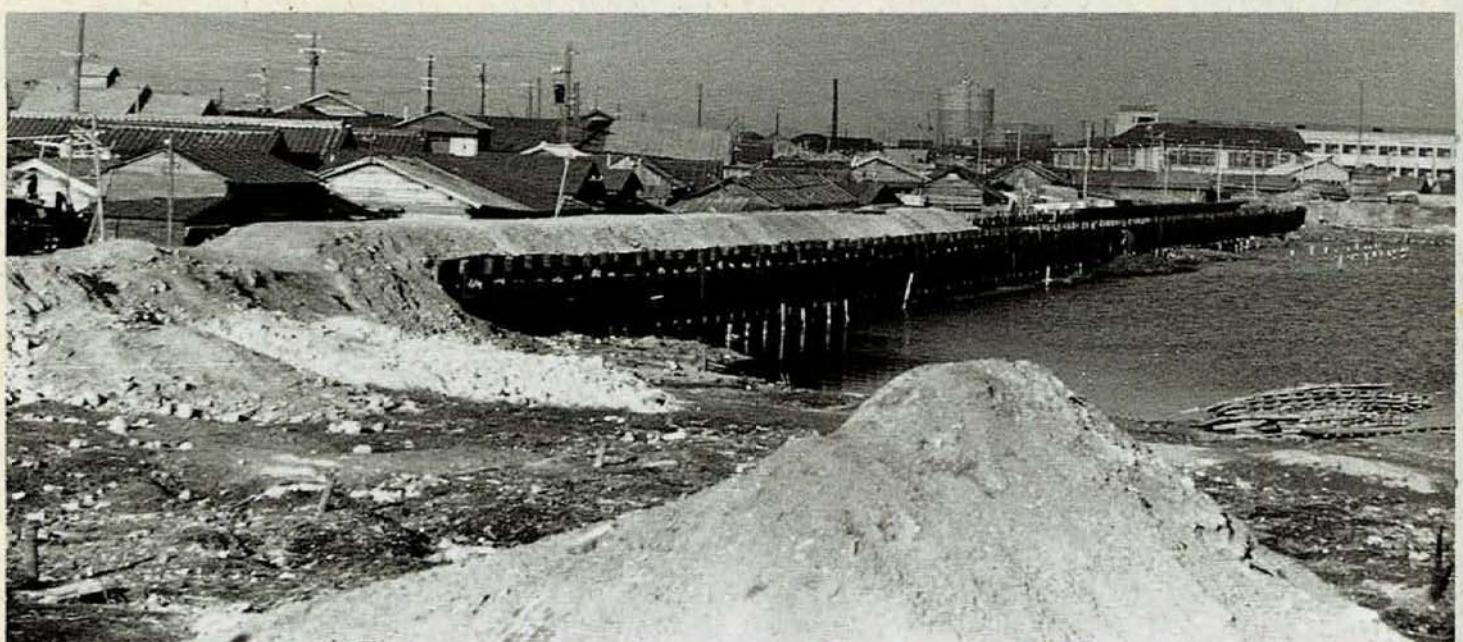
浚渫船運航のため橋桁をはずした千歳橋(昭和27年)



槽組の送砂管(昭和27年)



盛土予定地付近の住居(昭和33年)



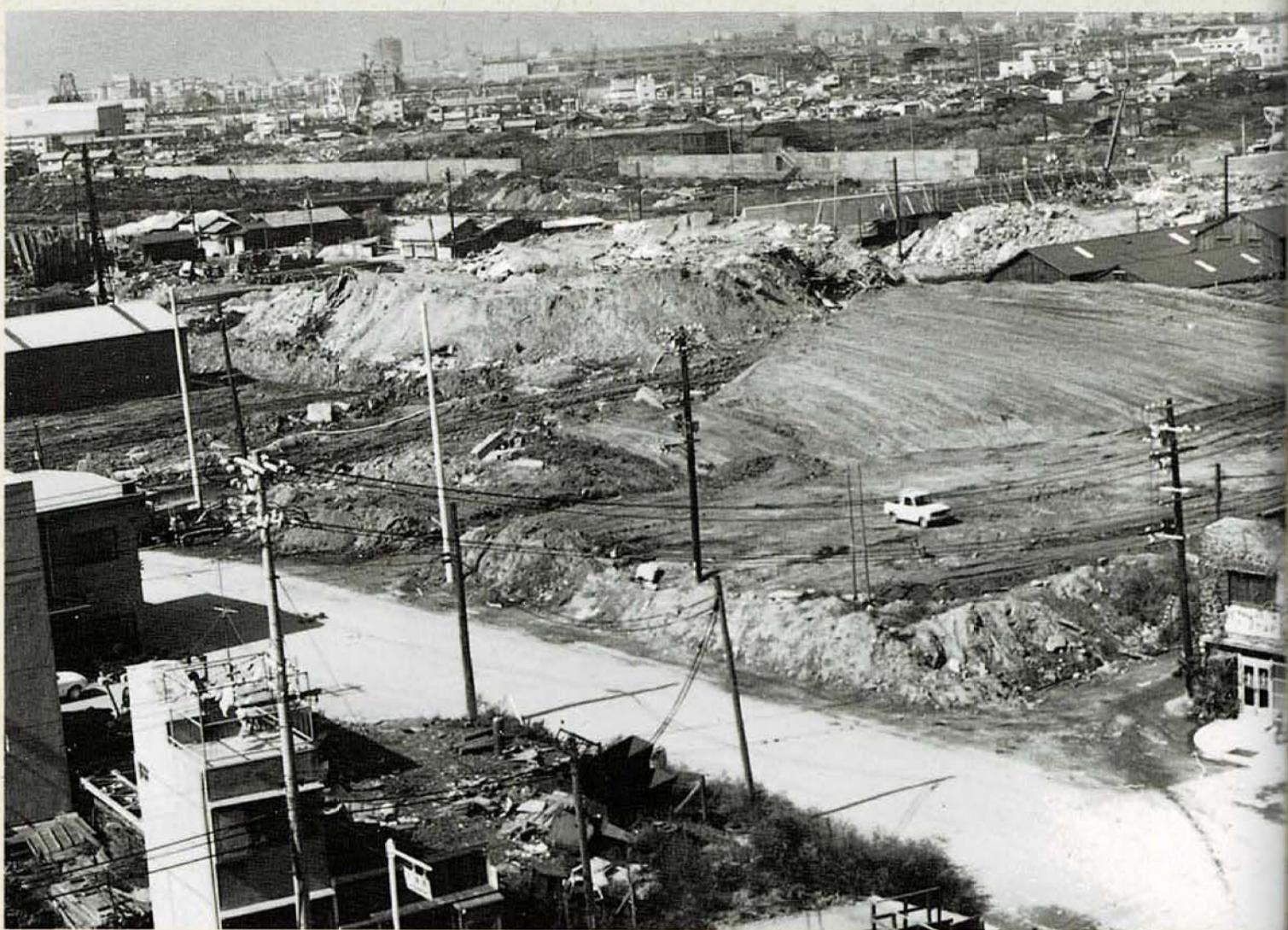
盛土工事本格化前の築堤(昭和33年)



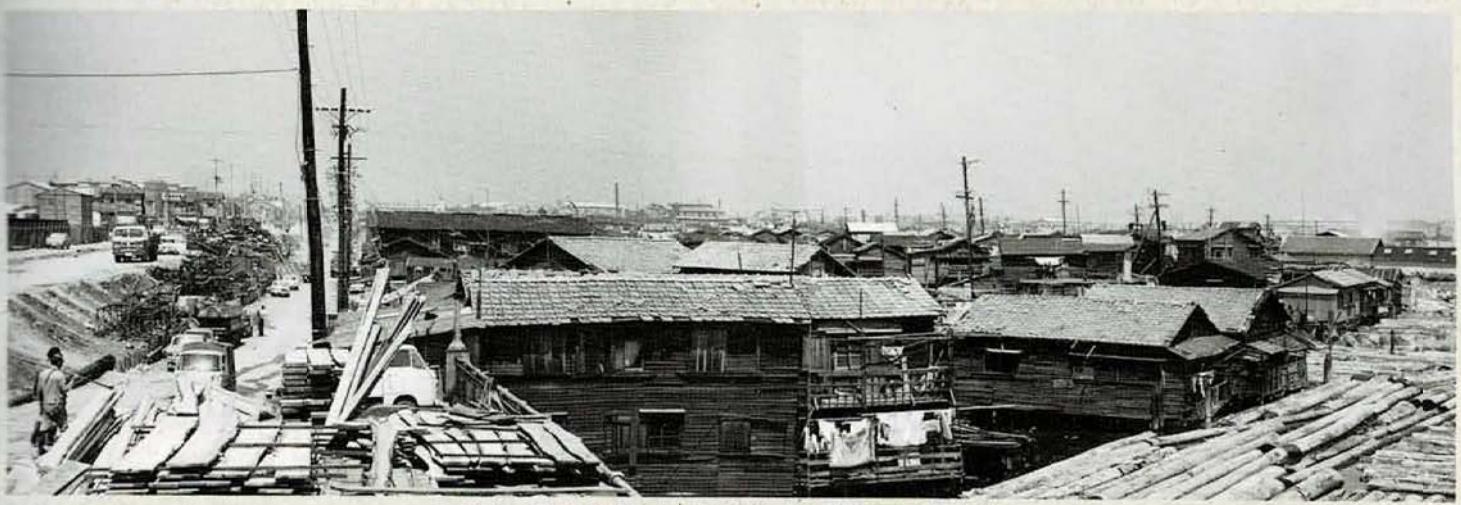
盛土後の路面高に合わせた下水道マンホール



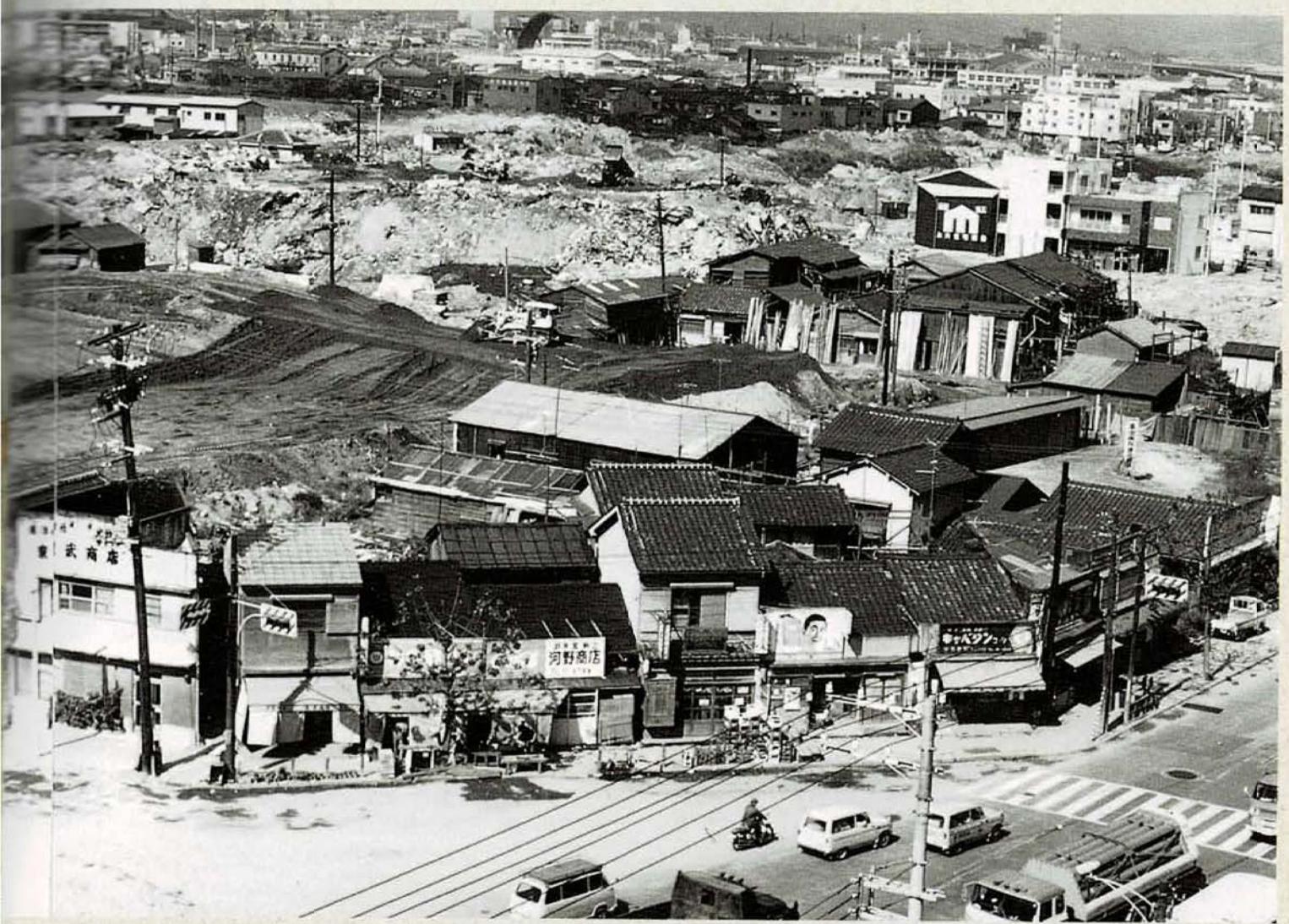
盛土地帯を走る市電(昭和40年ごろ)



盛土工事が進む小林町付近(昭和47年)



盛土で段差が生じた道路と住宅地（昭和47年ごろ）



千島計画・大正内港計画・貯木場



全貌を現わしはじめた昭和山(昭和45年)



盛土でせばまる千島町の貯木池(昭和45年)



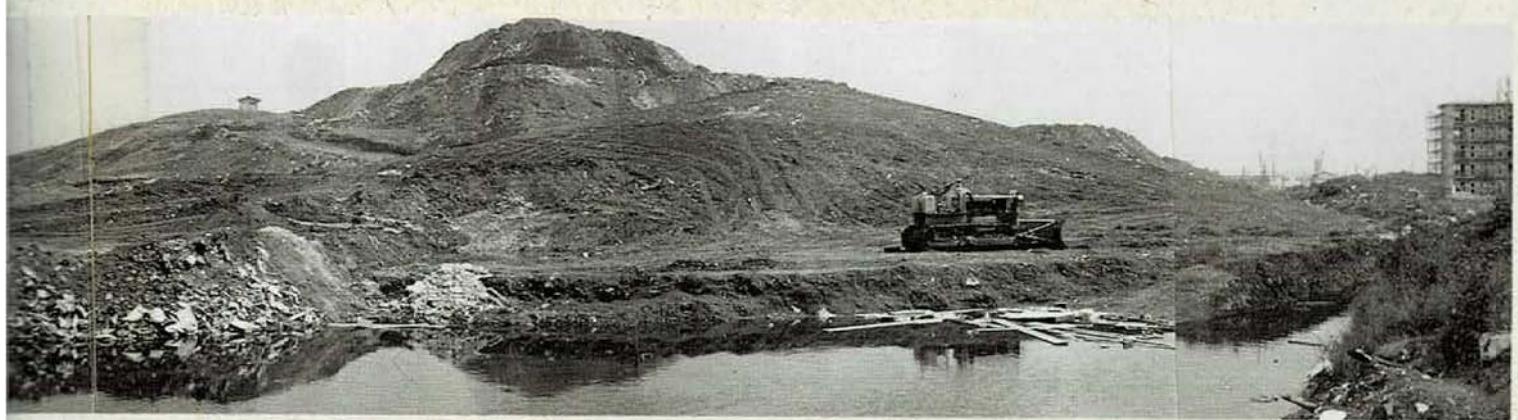
概成した港の見える丘(昭和山、昭和46年)



港の見える丘とその周辺。山の向こうは千島市街地住宅、左・大正区役所、中央手前・千島体育館(昭和46年)



木材業者の移転先、住之江区平林町付近(昭和48年)



大正内港予定地北恩加島付近の貯木場(昭和45年)



浚渫工事が進む大正内港(昭和44年)



完成した、はしけ桟橋(昭和50年)

道路・下水・建物移転工事



市電軌道撤去による道路拡幅工事(昭和42年)



千島町付近(昭和48年)



阪神高速道路永楽橋付近(昭和44年)



小林東2丁目付近(昭和46年)



移転前の建物と移転拡幅後の本田大運橋線(昭和46年)



下水道工事(前方にマンホールがある)



建物解体工事中



小林東3丁目付近より南西を望む(昭和61年)

公園



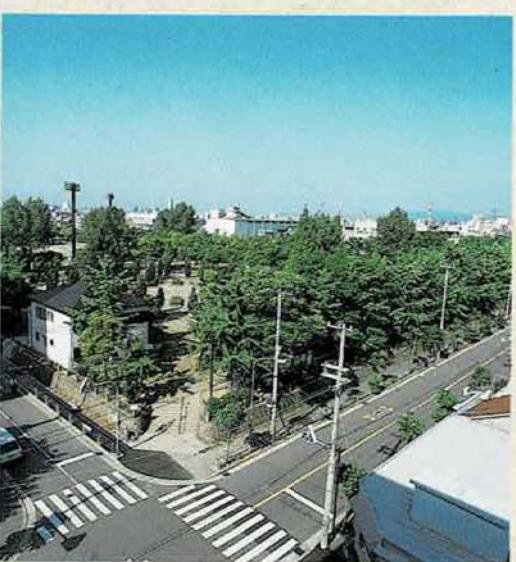
千島公園(昭和山)



泉尾上公園



三軒家公園



平尾公園(小林公園)



泉尾公園



泉尾浜公園



鶴町北公園



鶴町南公園

道 路

本田大運橋線



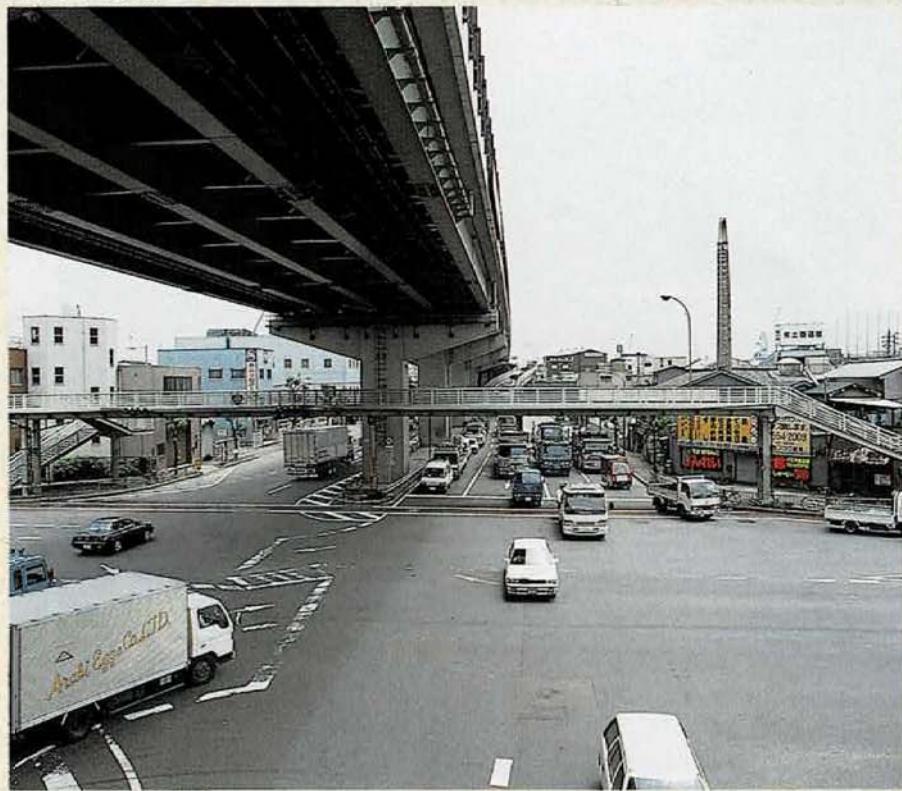
千島 2 丁目付近

本田大運橋線



三軒家東 4 丁目付近

尼崎平野線



三軒家東 6 丁目付近

大和川北岸線



平林南 2 丁目付近



三軒家東 2 丁目付近



北恩加島 1 丁目付近



北村 2 丁目付近



小林西 1 丁目付近



平林南 1 丁目付近



平尾 1 丁目付近

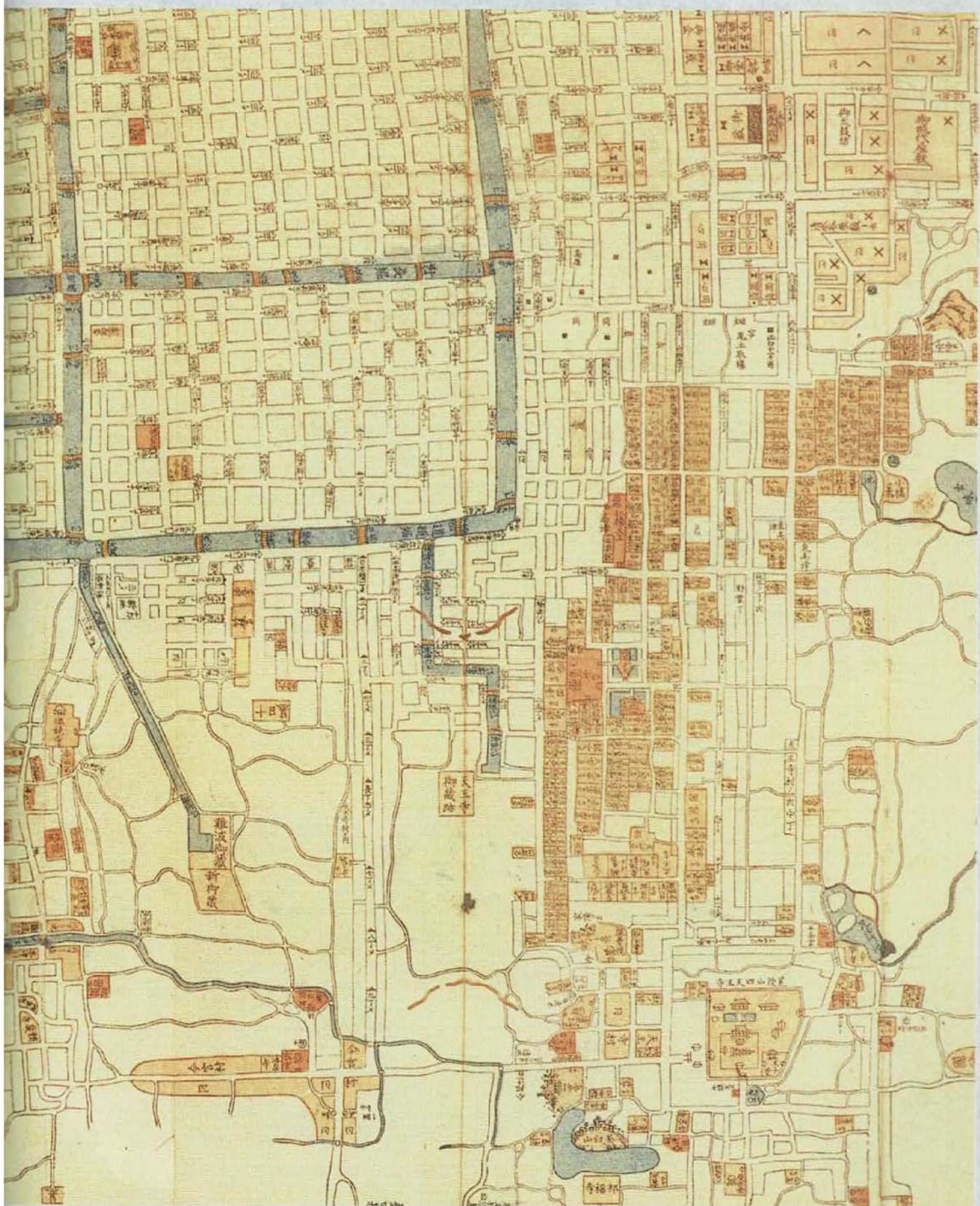


鶴町 3 丁目付近

大正・住之江 いま～むかし 江戸時代



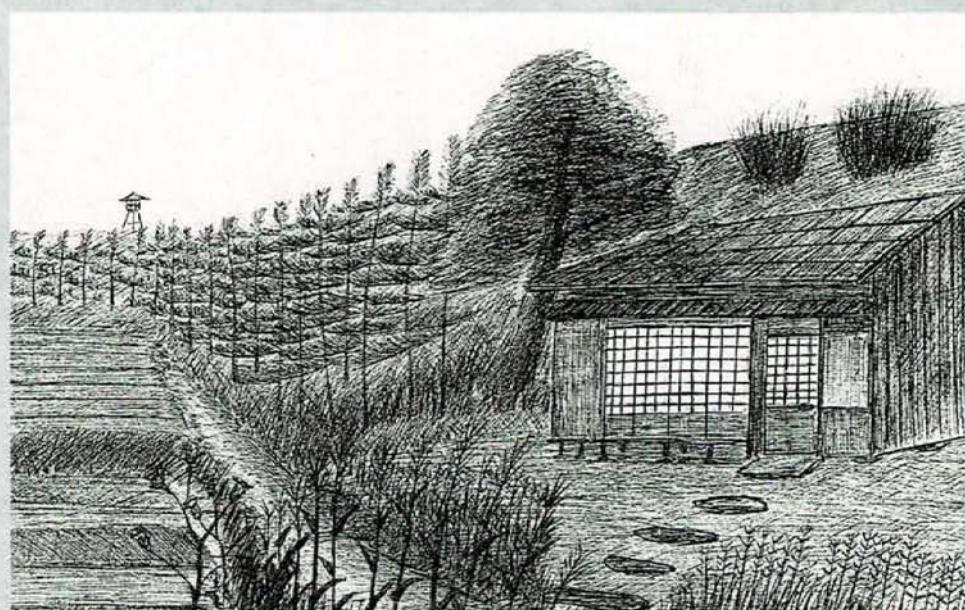
文政新改摺州大阪全國圖(文政 8 年・1825)



明治時代



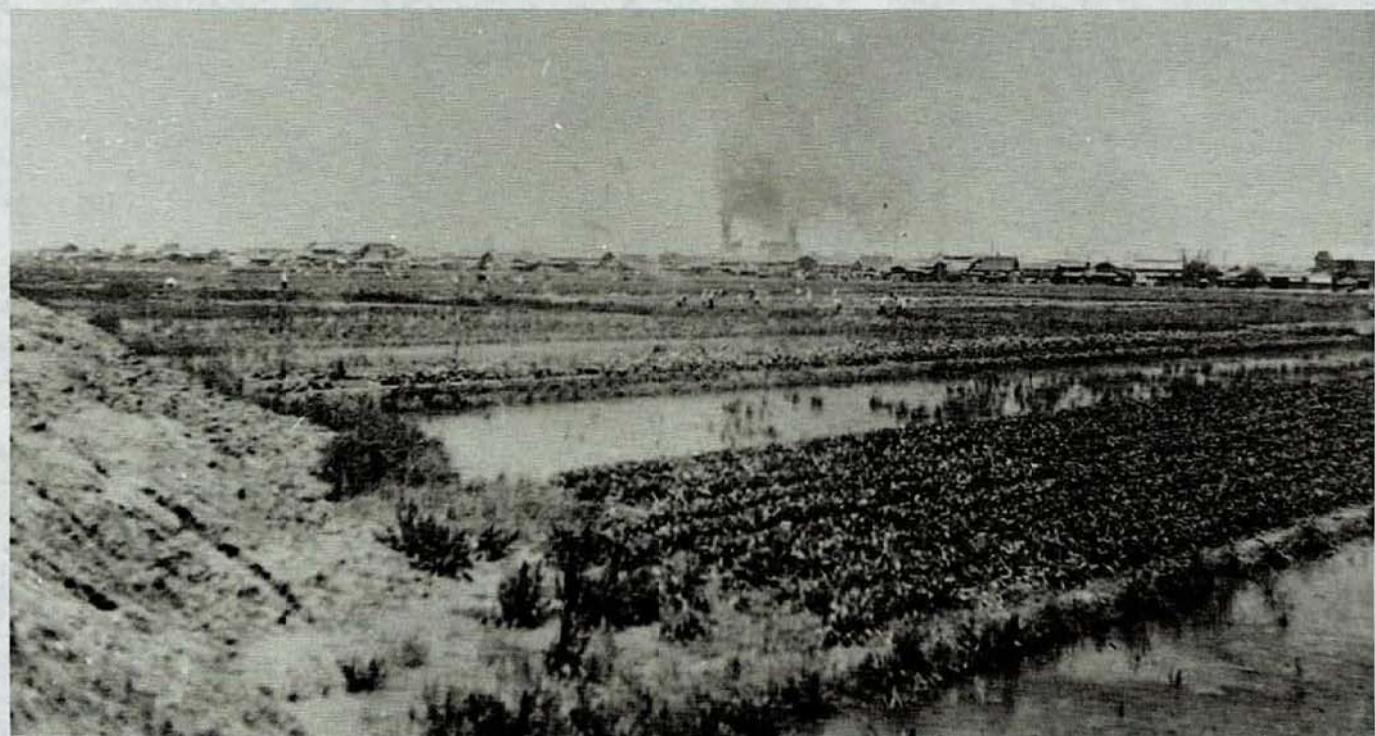
摂津国大阪府区分新細図(明治12年)



堤防に囲まれた新田(佐野健太郎・画)



大力堀の初入水場面(大正11年ごろ)



尻無川左岸千歳新田付近(大正12年ごろ)



大阪市パノラマ地図(大正13年)





戦前の千島市場



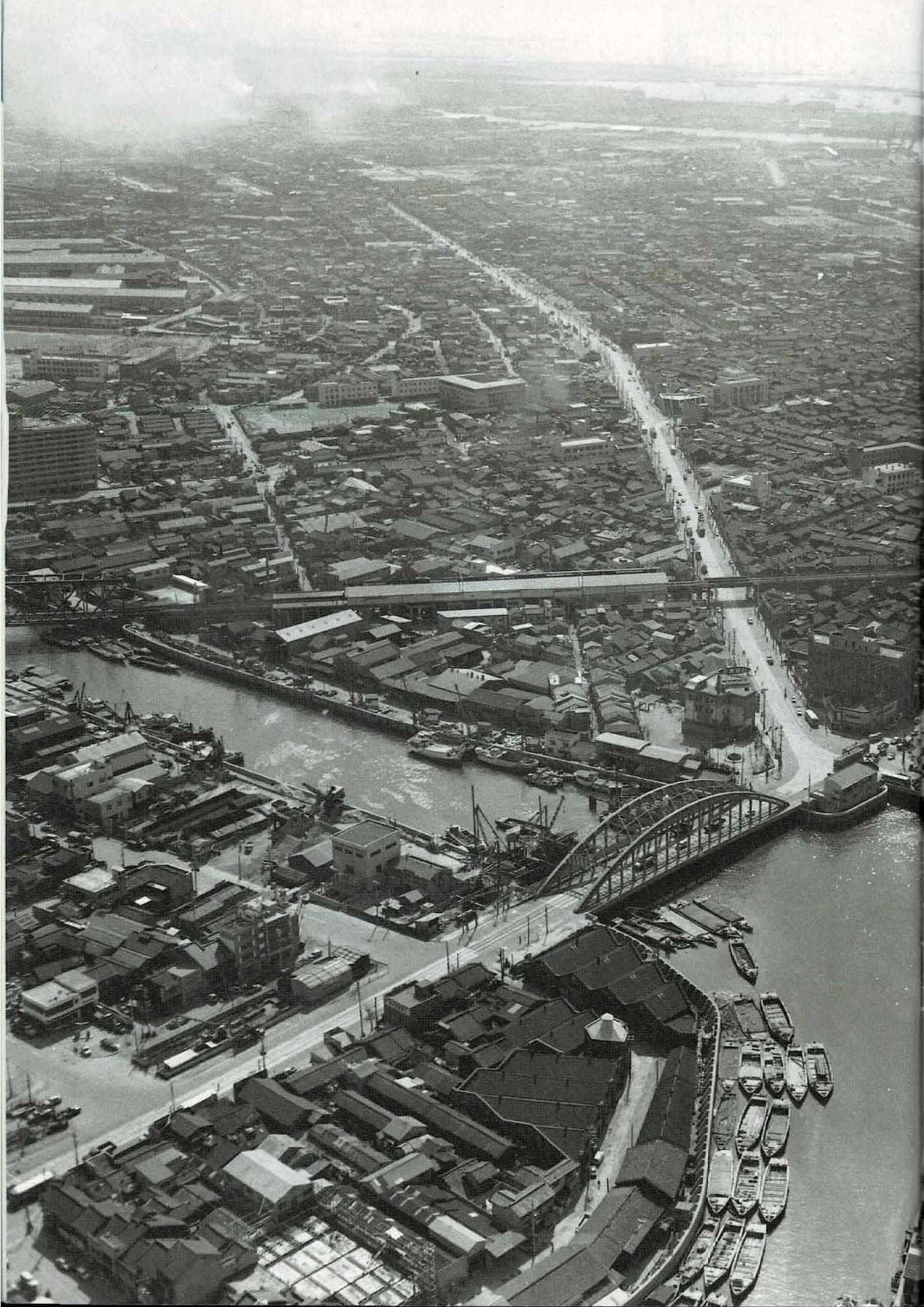
泉尾梅之町 3 丁目付近(昭和10年)



室戸台風による北加賀屋町付近の新田の境界堤防流失状況
(昭和9年9月)



木津川下流の工場群(昭和42年)





北から眺望した大正区のまち（昭和42年）



住之江区南港東1丁目・平林南1丁目付近(昭和47年)



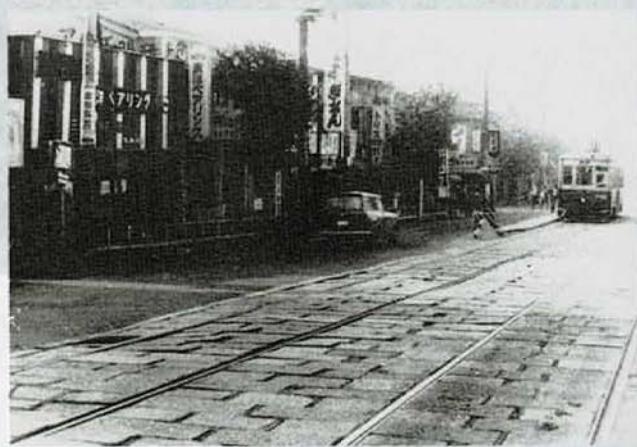
平成時代



大正橋(平成 6年)



大正橋(昭和40年ごろ)



大正駅付近(昭和38年)



大正駅付近(平成 6年)



マリンテニスパーク・北村が建設される前(昭和57年ごろ)



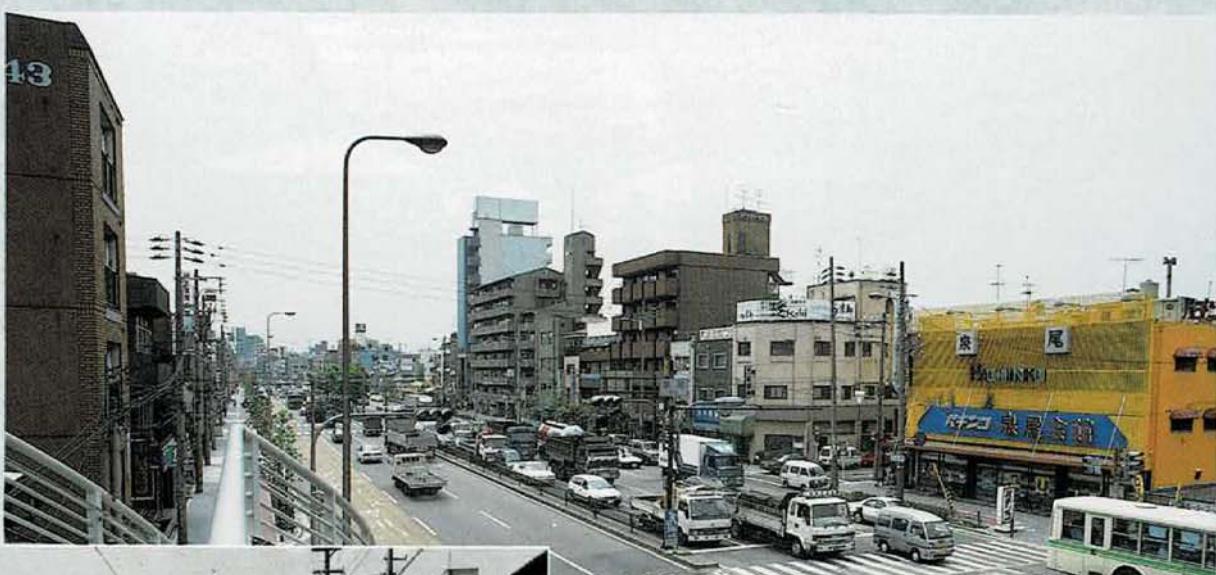
マリンテニスパーク・北村(平成6年)



北恩加島小学校の屋上より西方面を望む(平成6年)



北恩加島小学校の屋上より西方面を望む(昭和35年)

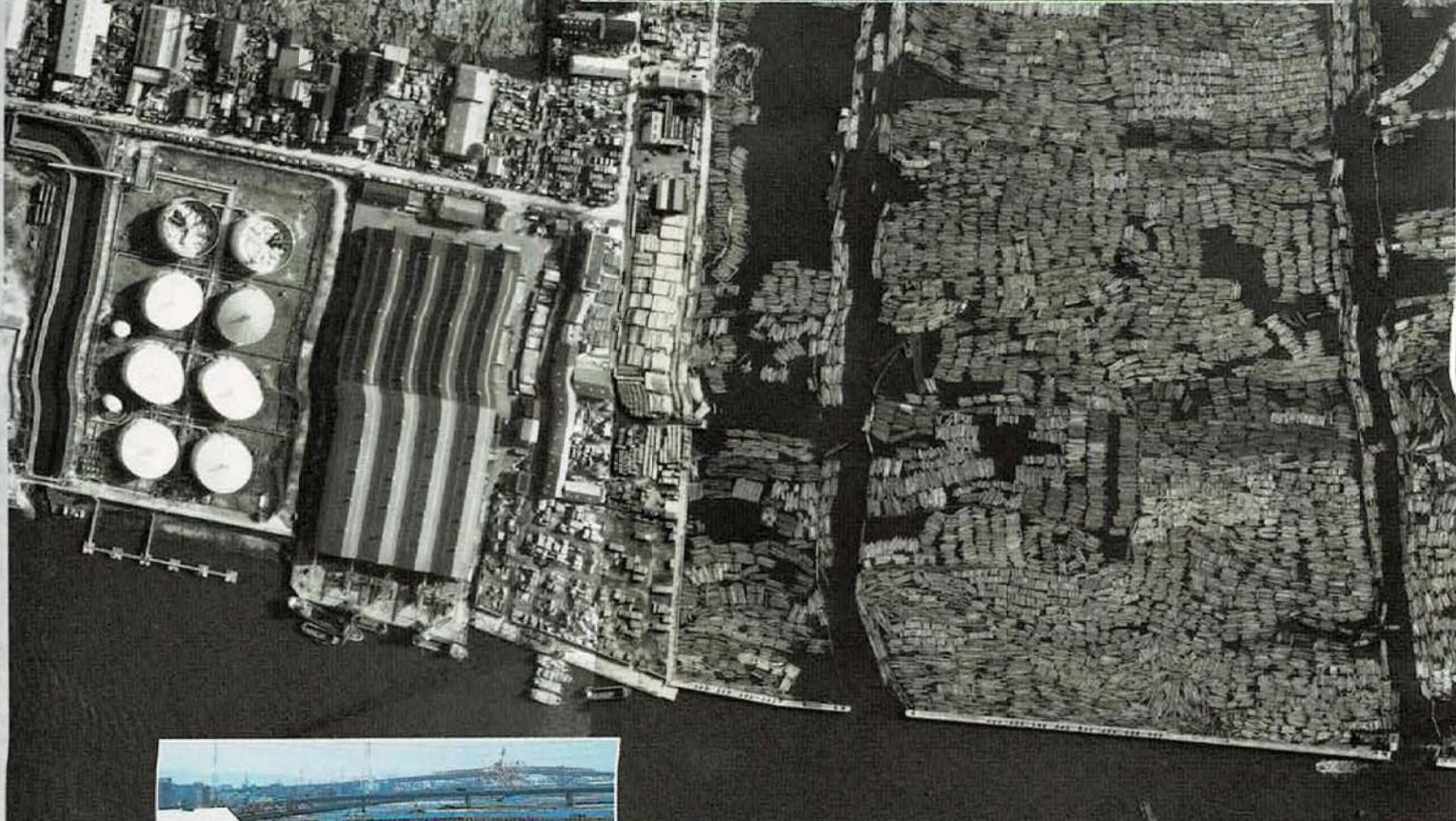


千島2丁目付近(平成6年)



千島町付近(昭和40年ごろ)

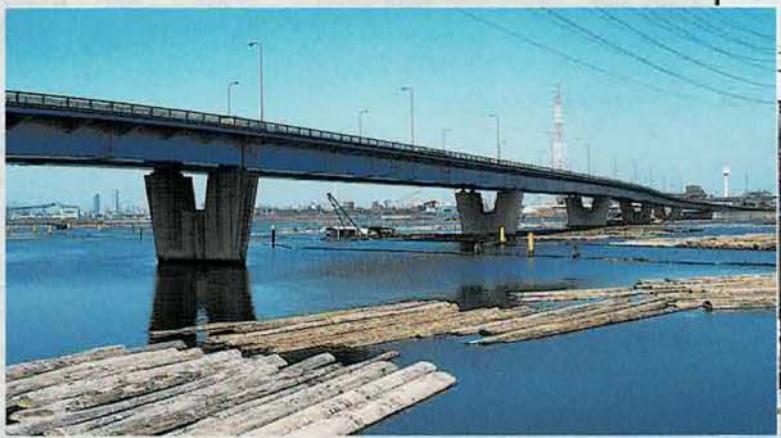
平林南2丁目付近(平成6年)



平林北1丁目付近(昭和47年ごろ)



平林南1丁目付近(平成6年)



平林大橋(平成6年)

平林北1丁目付近(平成6年)



大正地区のあゆみ

	年・月・日	主なできごと
慶應	4. 7.15	大阪開港（9.8「明治」と改元）
明治	22. 4. 1 30. 4. 1 8. 10.17	市制施行（東・西・南・北4区） 第1次市域拡張（現在の港区・大正区は西区に属する） 大正区南部の新田地先埋め立て工事始まる 大阪築港工事起工
大正	4. 8. 3 " " 5. 3.31 8. 4. 5 11. 5.15 10.15 12. 6. 14. 4. 1	大正橋竣工 市電岩崎橋一大正橋一日吉橋間開通（区内最初） 木津川運河完成 都市計画法公布（9.1.1施行） 市電鶴町4丁目一小林町間開通 市電松島2丁目一大正橋間開通 大正運河完成 港区発足（西区から分区）
昭和	2.11.28 4. 4.23 7. 7. 10. 1 9. 9.21 11. 5.28 16.12. 8 20. 3.13 6. 1 8.15 21. 9. 4 22.12.27 23. 9. 3 9.15 24. 1. 3.29 6.24 9. 25. 3.31 9. 3 11. 12.21 26. 3.31 4.19 6.18 6. 12.25 28. 3.31 30. 3.28 31. 5. 1 5.17 10.16 34. 3.21 8.20 36. 4.25 9.16 11.30 37.10.15 38. 5. 5	市電新千歳町一三軒家間開通 大阪港第1次修築工事竣工式挙行 平林南之町・釜口町・平林北之町埋め立て完了 大正区発足（港区から分区） 室戸台風襲来（全市被害甚大） 木津川運河に可動橋の大船橋完成 太平洋戦争起こる 大空襲により区内北部焼亡 大空襲により港湾地帯焦土と化す 終戦 特別都市計画復興土地区画整理計画決定 大正地区難波島工区設計認可 大正地区難波島工区仮換地指定 平林貯木場の建設に着手 大正内港化工事に着手 港南土地区画整理組合設立 戦災復興都市計画の再検討に関する基本方針閣議決定 鶴町付近の送砂盛土開始 泉尾公園開設 ジェーン台風襲来（西大阪被害甚大） 西大阪総合高潮対策事業開始 大正地区南部工区設計認可 平林第1貯木池完成 大正地区南部工区事業計画決定 大正地区三軒家工区設計認可 平林第2貯木池完成 大正地区三軒家工区仮換地指定 鶴町公園開設 大正地区南部工区事業計画変更の認可（住之江区平林町付近を編入） 大正地区南部工区仮換地指定開始 泉尾上公園開設 大正地区土地区画整理審議会発足（第1回委員選挙） 西大阪総合高潮対策事業による防潮堤竣工式挙行 鶴町付近の盛土工事完了 国鉄環状線開通（大正駅開設） 第2室戸台風襲来（市内の被害甚大） 大正地区難波島工区換地処分公告 三軒家公園開設 南恩加島東公園開設

年・月・日		主なできごと
昭和	39. 3.31	盛土地区(港地区、大正地区南部工区)土地区画整理事業への補助打ち切られ、以後、市単独事業として実施する
	10.20	南泉尾公園開設
	40. 2.15	大正鋼材埠頭の供用開始
	3.31	大正第1突堤に物揚場竣工
	7. 1	鶴町南公園開設
	41. 7.	大正第1突堤、内貿雑貨定期船基地として供用開始
	43. 9.	大正運河の埋め立て工事に着手
	12.28	鶴町北公園開設
	"	小林南公園開設
	44. 9.	千島計画発表
	11.11	大正地区南部工区事業計画変更の認可(千島計画)
	45. 3. 2	平尾公園開設
	11.30	千島公園(昭和山)の植樹完成
	46.	平林付近への木材業者移転完了
	47. 8.	都市計画道路大和川北岸線の供用開始
	48. 4. 1	泉尾浜公園開設
	10.31	千本松大橋完成
	49. 7.22	住之江区発足(住吉区から分区)
	50. 4. 1	北村町公園開設
	—	大正内港化にともなう拡幅浚渫工事を完了
	51. 2.18	平林大橋完成
	3.	都市計画道路本田大運橋線全通
	4. 1	千島公園開設
	54. 3.	千島公園と泉尾公園を結ぶ緑陰道完成
	55. 4. 1	北村町西公園開設
	56. 3.16	ニュートラム開業(住之江公園ー中埠頭)
	57. 3.31	千島南公園開設
	61. 4.23	大正区コミュニティセンター落成式
	62. 9.30	大正地区三軒家工区換地処分公告
平成	3. 4.26	マリンテニスパーク・北村、オープン
	5. 2. 5	千歳橋(仮称)の架設工事に着手
	9.24	大正地区南部工区換地計画決定
	6. 1.31	大正地区南部工区換地処分公告

写真・資料提供(敬称略・順不同)

大阪市計画局

大阪市交通局

大阪市港湾局

毎日新聞社

岩田土地株

千島土地株

佐野健太郎

発行：大阪市建設局区画整理部西部土地区画整理事務所
平成6年8月作成



大正区 ツツジ



住之江区 サザンカ



サクラ